

読売巨人軍創設 90 周年記念イベント

田園調布地区 2024 年 11 月 9 日(土)・10 日(日)



多摩川グラウンドを拠点として活動していた読売巨人軍の創設 90 周年を記念し、昨年 9 月～11 月、記念写真展などを大田区内で巡回開催しました。

主催：読売巨人軍・読売巨人軍 OB 会
共催：大田区
協力：報知新聞社

「声が小さいゾ」「君、うまいネ!…」多摩川河川敷に中畑清氏の声が響きわたります。昨年、11 月 10 日(日)午前、読売巨人軍創設 90 周年イベント、こども野球教室でのことです。

区内野球チームに属する小学生 250 人等ちびっ子達は、投手投球・キャッチャー捕球・ゴロ捕球・バッティング等いくつかの班に別れて巨人軍 OB の諸氏から指導を受けていました。

午後は田園調布せせらぎ館に場所を移し、巨人軍 OB トーク。かつて多摩川グラウンドを練習

拠点として活動していた現役時代の写真をスライドを見ながら、女性ファンに囲まれた定岡氏が着になる等、盛り上がりしました。

終始 笑いの絶えない「絶好調」のトークショーでした。



中畑 清、角 盈男、定岡正二、鹿取義隆、篠塚和典、村田真一の各氏が当時の思い出を語った

新自治会長・署長の紹介



岡部 俊介 会長
調布大塚自治会

14 年の長き会長を務められた大口喜一郎会長の後任として 2024 年 6 月 15 日付で就任

歴等：調布大塚小学校 PTA 会長
趣味：映画鑑賞、推理小説の耽読
抱負：気軽に挨拶を交わせるまことにしたい。



小田 良一 署長
田園調布警察署

警視庁 総務部装備課から 2024 年 8 月 26 日付で就任

出身：兵庫県
スポーツ：柔道三段、ジョギング
抱負：平素から警察業務に格別のご理解、ご支援を頂き、誠に有難うございます。安全・安心な田園調布の実現のため、署員一丸となって、明るく、元気に、正々堂々と業務を推進して参ります。

子どもたちの川柳

田園調布中学校 二年生が詠んだ川柳 三選

眠いのは だいたいどれも 五時間目
テストやり 全問正解 これマジか? 河野 匡
もう止めよう スマホ触って 一時間 永井 千尋
弘田 翔万

編集後記

新年おめでとうございます。今月より田園調布中央病院が新たに開院しました。

あれは私が 7 歳の時でした。気管支炎で中央病院に入院しましたが、祖母が付き添ってくれたので、不安なく、むしろ嬉しく同室の子と夜、院内を探検した思い出があります。

大きな船の形の新しい病院。頼もしく、この街の自慢の病院となるでしょう。個人的には、病院のお世話になることなく、元気に過ごしたいものです。

編集委員 落合 雅子



でんえん
わがまちの HP



第137号
令和 7 年 1 月
January, 2025
季刊 Quarterly

でんえん

My town Den-en-chofu わがまち

発行 地域力推進
田園調布地区委員会
編集 でんえんわがまち編集委員会
事務局 田園調布特別出張所
大田区田園調布1-30-1
TEL 03-3721-4261
http://www.city.ota.tokyo.jp/

戸田中央メディカルケアグループ
医療法人社団 七仁会

田園調布中央病院 今春より開院

念願の新病棟が正月明けの 1 月 4 日(土) ついに開院、外来診療を開始しました。田園調布中央病院 70 年超の歴史に新しいページの始まりです。田園調布における地域医療のさらなる前進です。



明るい光にあふれる 1 階総合受付とロビー



ゆったりした 4 人部屋の病室



建築データ

住所：大田区田園調布 1-54-9
構造：鉄筋コンクリート造 地上 5 階建
高さ：18.3m
敷地面積：2,007 m²
建築面積：1,131 m²
延べ面積：4,764 m²

5 階	管理部門、薬剤科、厨房
4 階	急性期病棟 (48 床)
3 階	回復期リハビリテーション病棟 (52 床)
2 階	手術室、内視鏡室、眼科外来、リハビリ室、臨床検査室
1 階	総合受付、一般外来、事務部門、救急初療室、感染症専門診療室、放射線部門

診療科目：内科 / 消化器内科 / 外科 / 消化器外科 / 整形外科 / 眼科 / 麻酔科 / リハビリテーション科 / 皮膚科 / 脳神経外科

なお、今回の移転計画は所属する戸田中央メディカルケアグループ創立 60 周年記念事業の一環としても行われたとのことです。

(編集委員長 出口清孝)



田園調布中央病院 検索



田園調布小学校における ICT を活用した分かりやすい授業

令和6(2024)年4月より新たな「おおた教育ビジョン」(第4期大田区教育振興基本計画)が策定されました。計画の理念は「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」となっています。未来を生きる子どもたちが予測困難な社会の変化に対応できるように、小学校の授業においても様々な工夫を取り入れながら教育活動をすすめています。情報活用能力の育成もその一つです。

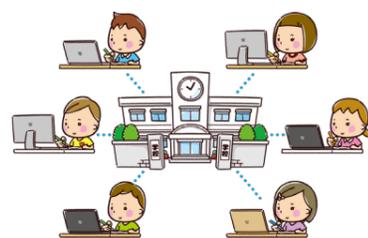
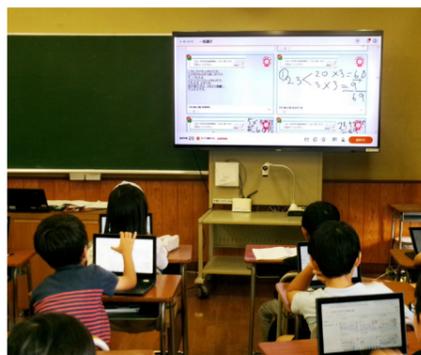
ICT教育における「タブレット端末を活用した授業等による情報活用能力の育成」では、複数の情報を結び付けて新たな発見をしたり、課題の解決に向けて情報を整理したりと一人一台端末を活用しています。また、ICT機器の活用は、子どもたちがもっと知りたいという学びへの意欲を高める動機付けにもつながります。

そこで田園調布小学校におけるICT機器を活用した学習について2つの事例を紹介致します。

注)【ICT】Infomation and Communication Technology (情報通信技術):IT (Information Technology) を利用して情報を作成、処理、伝達、保管、共有するために使用される技術の総称のこと。

事例1 3年生算数：授業支援アプリ(オクリンク プラス)を使用

授業のねらい
基本的な九九を基に、より大きな掛け算の仕組みが分かるようにする。授業支援アプリを活用することで、自分の考えを分かりやすくペンや手書きでタブレットに入力し、画面に全員の考えを表示することができる。



授業者のコメント

授業支援アプリを活用することで、児童が自分の考えを入力、表示することが容易にできるようになりました。

ノートに書きその考えを一人ずつ発表していると、学習活動の時間が十分に確保できません。ところが、20名以上の授業でも、ICT機器やアプリを活用することで、ねらいに迫る活動の時間が確保できます。

今回の授業では「大きな数のかけ算の計算の仕方」について多様な考えを出し合い、交流することができました。

(奥村公朗主任教諭)

事例2 4年生社会：桃太郎電鉄教育版アプリを使用

授業のねらい

児童が都道府県に興味関心をもち日本各地の魅力に気付き、そこから学習課題づくりを行う。その際にゲームをベースとしたアプリを取り入れることで、一人一人が主体的に各地の魅力に気付くことができる。

授業者のコメント

一番の魅力は、楽しみながら地理や歴史を学べることです。全国各地を電車で移動しながらその土地で物件を購入して、手に入れた資産の額を競い合う



ゲーム感覚のアプリ=教育版桃太郎電鉄(通称「桃鉄」)を使用します。停まった駅の都道府県情報も表示されるので、より詳しく学ぶことができます。実際に授業で桃鉄をプレイした後も、興味をもった地域を調べてパンフレットを作りました。

プレイを始める際は管理者(授業者)が時間設定できるので、やりすぎるといことはありません。また通常のゲームとは違い「持ち金」が変動しすぎないように調整されているため、都道府県の魅力に十分に触れることができます。

「桃鉄をやるよ。」と伝えると、歓声上がるほど、子どもたちは楽しみにしています。

(椎本恭平教諭)

ICT機器の運用には、操作上の課題や児童の反応等、学校現場の意見を本校ICTサポーターに伝え、連携して全教員がICT機器を活用できるように進めています。タブレットが重い、充電が必要、故障等の課題もありますが、ICT機器はそれ以上の効果が見込まれます。

ICT機器を活用しながら教育活動を充実させ、授業改善を図りながら、子どもたち一人一人がこれからの社会で様々な社会課題を解決するために大切な資質・能力を育ててまいります。



せせらぎ館 体育施設 記念式典・祝賀会 昨年11月17日

開館記念式典

2024年11月17日(日)
11:30 ~ 12:00

会場：せせらぎ館(体育施設)

せせらぎ館(体育施設)の開館を記念し、隈研吾建築都市設計事務所 横尾実 代表取締役、大田区議会議員等の出席の下、式典が催されました。

鈴木晶雅大田区長の挨拶、大田区議会議員および田園調布地区自治会連合会 会長の祝辞の後、代表者による記念のテープカットで終わりました。



記念テープカットをする 左より松原秀典 大田区議会 議長、鈴木晶雅 大田区長、古田中武彦 田園調布地区自治会連合会 会長の各氏

記念祝賀会

17時からは会場をせせらぎ館 多目的室に移し、鈴木晶雅大田区長および松原忠義 前大田区長などをお迎えし、自治会連合会主催の祝賀会が行われました。

一般の方々もご参加 **オープニングイベント** 13:00 ~ 18:00

大人も子どもも盛り沢山の行事に楽しみました。
・オープニングセレモニー：
チアダンス発表会
・バスケットボール：シュート体験
・東京ヴェルディ：インクルーシブ

サッカー教室
・トレーニングルーム：無料体験会 / 体組成計(インボディ)測定会
・無料体験教室 / 姿勢測定会
介護予防教室
簡単ヨガ教室
姿勢測定会

ICT教育 こども - 保護者 - 学校をつなぐ「ツール」

田園調布小学校のグループ発表では、

- ①インターネットを活用した調べ学習から画像や動画を記録
- ②各自の考えを整理してグループ内で話し合う
- ③発表に向けて各自の意見を記録
- ④グループ代表者のタブレット PC を電子黒板に投影して発表を行う

という形式の授業が行われます。以前は、①書籍や図鑑を活用して調べる②各自の考えを整理してグループ内で話し合う③模造紙などの紙に写真、絵、ペン等を使用してまとめ④黒板に貼って発表していました。

情報過多の今、その取扱いについて注意が必要なことも多いです。しかし、子どもたちの興味のある動画や画像を使用した方法によって、学習意欲や情報

活用能力も育まれ、学習の効率化へつながっていくことも期待できるかと思えます。

また、こども、保護者、学校をつなぐ『まなびポケット(デジタル連絡機能)』まなびポケットアプリがあります。

スマートフォンにアプリをインストール後、所定の手続きにより、学校への欠席や遅刻連絡も可能となり、学校からの諸連絡、こどものタブレット PC 内のソフト利用状況も把握できます。

諸連絡は学校全体、学年全体、クラスごとと分かれて届くため、ある程度情報がまとまっており、例えば、クラスごとの連絡では先生から子どもたちの様子が画像や動画で届くこともあります。

スマートフォンからいつでも諸連絡が確認でき、学校の様子に触れ、それが時間や場所に拘



pixta.jp - 19667145

束されることなく確認できることはとても助かります。

書くことの大切さも

反面、連絡帳などに『書く』ということが減り、学習時間割や宿題をこども自身が書き写すことをせず、帰宅後に保護者のスマートフォンにあるアプリで確認するという姿も見受けられます。

ペーパーレス化へもつながり、今後もデジタルを活用する期待は高いと思いますが、「書く」ことの大切さやその楽しさも忘れず、どちらも力をつけていけるような取り組みを自分でも考え、こどもに伝えていけたらと思います。(田園調布小学校 PTA)